

十日町市地域公共交通計画の策定に向けて

計画策定の流れと各種調査内容（案）

【 目 次 】

1. 計画策定の目的	-----	3
2. 計画策定の流れ	-----	6
3. 令和4年度に実施する調査等	-----	10
3-1 地域現況の整理	-----	11
(1) 上位・関連計画等と本計画の位置づけ整理	-----	11
(2) 十日町市の現状整理	-----	12
3-2 地域公共交通におけるニーズ等の把握	-----	13
(1) 市民アンケート	-----	13
(2) 利用者アンケート	-----	15
(3) 乗降実態調査	-----	17
(4) 関係者ヒアリング	-----	18
3-3 調査結果とりまとめ	-----	19
3-4 地域公共交通活性化協議会等の開催	-----	20
4. 策定スケジュール	-----	21

1. 計画策定の目的

(1) 計画策定の目的

- 本業務では、「持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」（令和2年6月3日公布）の枠組みを活用し、今後の十日町市の地域公共交通網の形成と活性化を計画的に遂行し、**持続可能な地域公共交通網の構築を目指すため、新たな交通マスタープランとなる「十日町市地域公共交通計画[※]」を策定**するものです。
- 令和4年度は、地域現況の整理やアンケート調査等を実施して、**計画策定に向けた地域現況及びニーズ等の把握**を行います。
- 令和5年度は、令和4年度に実施する各種調査結果等を踏まえて地域公共交通の現状分析や課題の整理、地域公共交通計画（案）の策定を行います。

※地域公共交通計画とは

- ・地域の移動手段を確保するために、地方公共団体が中心となって、作成するマスタープラン（ビジョン+事業体系を記載するもの）です。
- ・作成にあたっては、国が定める「地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本方針」に基づき、地方公共団体が地域の移動に関する関係者を集めて「活性化再生法に基づく協議会」を開催しつつ、交通事業者や地域の関係者等との個別協議を重ねることで作成します。

十日町市地域公共交通計画策定業務について

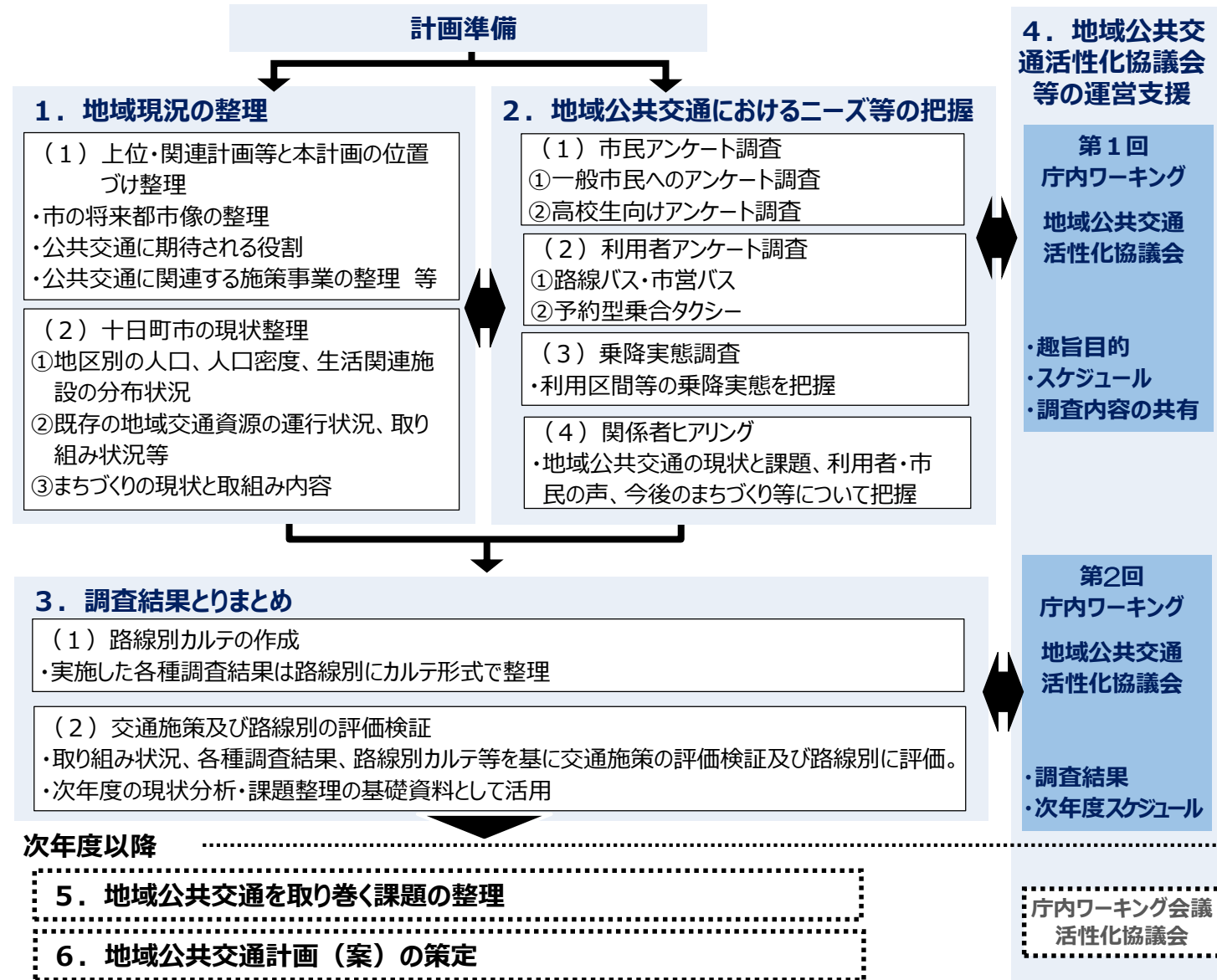
- ・ 契約会社：株式会社ケー・シー・エス北陸支社
- ・ 業務名称：令和4年度十日町市地域公共交通計画策定業務委託
- ・ 契約金額：6,050,000円
- ・ 契約期間：令和4年7月8日～令和5年3月31日

2. 計画策定の流れ

2. 計画策定の流れ

(1) 調査・検討内容

- R4年度は「上位・関連計画等と本計画の位置づけ整理」と「十日町市の現状整理」の2つの視点から**地域現況を整理**
- 地域公共交通におけるニーズ等を把握するため、**市民・利用者視点で、把握すべき内容ごとに調査内容を明確にして調査を実施**
- 更に地域公共交通の現状と課題、今後のまちづくり等について把握するため**交通事業者や庁内関係者（都市計画、福祉等）などを対象にヒアリング調査を実施**
- 調査・計画策定を進めるにあたっては、**地域公共交通活性化協議会、庁内ワーキング会議**を開催



2. 計画策定の流れ

(2) 必要となる調査

把握すべき項目・概要

地域の実態(需要等)

- | | |
|--------------------|--|
| 市民全体の実態 | ● 地域別・目的別の移動実態（場所・時間・手段等） |
| 高齢者等の移動に困っている実態 | ● 利用する生活サービスの実態・日常的な移動実態 |
| 多様な世代の移動ニーズ | ● 地域ごとの高齢者ニーズ、子育て世帯の移動ニーズ等 |
| 移動実態（市民以外含む） | ● 十日町市内
● 広域：十日町市⇔周辺市町村の移動実態 |
| 公共交通の評価 | ● 利用者の評価、公共交通がない場合の外出の変化等 |
| 公共交通に対する関連分野の考え・意向 | ● まちづくりや他分野（都市・施設・福祉・観光等）の考え
● 今後のまちづくりや関連事業の動向 |

手段の実態(供給等)

- | | |
|------------------|---|
| 公共交通の提供状況 | ● 公共交通の運行状況・経費、不便地域、経営状況 |
| 他の交通・移動サービスの提供状況 | ● タクシー等の実態
● 行政主体サービス（福祉輸送等）の実態
● 民間・地域主体サービス（各種送迎バス等）の実態 |
| 公共交通の利用実態（広域・市内） | ● 路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用実態、サービスの過剰・不足状況 |
| 交通拠点の実態 | ● 公共交通の乗り継ぎ実態・待合環境等の実態 |

必要となる整理

- 上位・関連計画等と本計画の位置づけ整理
- 十日町市の現状整理（人口・施設、地域交通資源、まちづくり等）

必要となる調査

- 市民アンケート
- 利用者アンケート
- 乗降実態調査
- 交通事業者ヒアリング（バス・タクシー等）
- 庁内関係者ヒアリング

2. 計画策定の流れ

(参考) 地域公共交通計画の構成案

大項目	中項目
1. 計画の概要	計画の目的、計画の位置付け、計画の区域・期間
2. まちづくりの方向性	市が目指す将来像、まちづくり・都市整備の方向性
3. 地域公共交通の現状・課題	3-1 地域の現状 3-2 公共交通の現状・問題点 3-3 地域公共交通を取り巻く課題
4. 基本的な方針と目標	4-1 基本理念と基本方針 4-2 計画の目標 4-3 地域公共交通の将来像
5. 目標達成のための施策・事業	5-1 施策体系 5-2 各事業の内容 5-3 事業の実施スケジュール
6. 計画の進行管理の方法・体制	6-1 計画の推進体制 6-2 評価・検証方法 6-3 評価指標・数値目標

3. 令和4年度に実施する調査等

3 - 1 地域現況の整理

(1) 上位・関連計画等と本計画の位置づけ整理

- 十日町市都市計画マスタープラン、十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略などのほか、十日町市地域生活交通基本計画等の既存計画、第二次総合計画基本構想に基づき令和3年3月に策定された「後期基本計画（令和3年度～令和7年度）」など、総合計画、総合戦略、立地適正化などの上位・関連計画に記載されている公共交通に係る施策や事業など、公共交通の位置付け、関連性等を整理します。

項目	収集する地域の現況整理データ	データ収集先・方法例
上位・関連計画	総合計画、立地適正化計画、都市計画マスタープラン、 地域公共交通関連計画 等 その他計画（観光、教育・福祉関連計画 等） 県、隣接市町村の交通計画・マスタープラン 等	本市、隣接市町村公表資料・データ

3 - 1 地域現況の整理

(2) 十日町市の現状整理

● 既存資料等により、地域特性のデータを収集して整理します。

- ① 地区別の人口、人口密度、生活関連施設等の分布状況
- ② 既存の地域交通資源の運行状況、取り組み状況等
- ③ まちづくりの現状と取り組み内容

項目	収集する地域の現況整理データ	データ収集先・方法例
① 社会動態 インフラ	<ul style="list-style-type: none">・人口（総人口・年齢別人口・高齢化）・医療施設、学校施設、商業施設、観光施設の立地状況・産業・企業立地状況、道路ネットワークの変更 等	<ul style="list-style-type: none">・RESASの活用（地域経済分析システム）・市統計資料、国勢調査、地域別将来推計人口（社会保障・人口問題研究所）・地域経済総覧、観光統計調査 等
② 公共交通	<ul style="list-style-type: none">・運行ルート・公共交通ネットワークの変化・交通拠点・バス停等の設置箇所・変化・公共交通利用圏・交通不便エリア 等	<ul style="list-style-type: none">・国統計局や当社保有データの活用・市・交通事業者発行のダイヤ・ルート・時刻表・路線別乗降データ、収支状況
③ まちづくり 各種計画他	<ul style="list-style-type: none">・総合計画、立地適正化計画、都市計画マスタープラン、地域公共交通関連計画 等・その他計画（観光、教育・福祉関連計画 等）・県、隣接市町村の交通計画・マスタープラン 等	<ul style="list-style-type: none">・上位関連計画の整理結果を基に、「まちづくり」に関連する現状と取り組み内容を整理

3 - 2 地域公共交通におけるニーズ等の把握

(1) 市民アンケート

① 一般市民へのアンケート調査

- 市民の日常生活における移動実態や公共の利用状況、問題点・ニーズの他、本市の交通計画の方向性、将来のあり方などの定性的な意見について把握するため、18歳以上85歳以下の市民を対象としたアンケート調査を実施します。
- 特定の地区・年齢層に偏らないよう無作為抽出するために、旧合併前市町村のエリアや年齢層に配慮して配布票数を算出します。

【実施概要（案）】

- **調査対象**：
十日町に在住の方
(18歳以上85歳以下) 無作為抽出
- **配布回収**：
郵送配布、郵送回収
- **配布数**：
2,000票程度
(回収率2割程度を想定)

【調査項目（案）】

項目	把握内容（概要）
基本属性	・ 性別、年齢、居住地 等
日常生活、暮らしの行動パターン	・ 通勤、通院、買物（日用品等）時の移動先（外出先） ・ 交通手段 ・ 頻度 等
日常生活、暮らしていく上で移動の困りごと	・ 通勤、通院、買物（日用品等）時等、移動する上での困りごと ・ 改善要望 等
自由回答	・ 公共交通に対する意見 等

3 - 2 地域公共交通におけるニーズ等の把握

(1) 市民アンケート

② 高校生向けアンケート調査

- 市民アンケート調査と並行して、「通学」で利用することが想定される「高校生」を対象にアンケート調査を行い、高校生における地域公共交通の利用実態、ニーズ等を把握します。
- 調査方法については、市内の高校に協力を依頼し、調査票を生徒・保護者宛に配布して頂き、後日、高校に伺い回収します。

【実施概要（案）】

● **調査対象：**

- 市内の高校 2 校
 - 十日町高等学校
 - 十日町総合高等学校

● **実施方法：**

- ホームルーム等でのアンケート配布（後日回収）

【調査項目（案）】

項目	把握内容（概要）
基本属性	<ul style="list-style-type: none">性別部活動の所属最寄り駅・バス停の認知状況
普段の通学方法	<ul style="list-style-type: none">普段の通学時間、天候別の移動手段、公共交通に対する意見帰宅時の経路地、移動手段、時間帯、頻度
通学以外での移動実態（概要）	<ul style="list-style-type: none">通学以外での外出先、頻度、移動手段（自転車の利用頻度など含む）
通学に対する保護者の意向等 ※保護者が回答	<ul style="list-style-type: none">通学に掛かる費用費用負担や送迎等に対する経済的・身体的な負担

3 - 2 地域公共交通におけるニーズ等の把握

(2) 利用者アンケート

① 路線バス・市営バス

- 路線バス及び市営バスの利用実態を把握するため、路線バス・市営バス利用者を対象にアンケート調査を行い、利用路線における運行内容の評価（5段階の満足度）や、改善要望などを把握します。
- 車内での聞き取り調査を基本としますが、十日町駅、まつだい駅（道の駅併設）等の拠点施設のバス停での聞き取りも必要に応じて行います。

【実施概要（案）】

- **調査対象：**
路線バス、市営バスの利用者
- **実施方法：**
基本的には、調査員による車内での聞き取り調査

【調査項目（案）】

調査項目	把握内容（概要）
利用実態	・ 利用路線、利用時間、乗降バス停 ・ 往復・片道利用、利用目的、利用頻度、支払方法 等
利用者の評価	・ 運行内容に対する評価 （運行時間、便数、ルート、運賃等） ・ 改善意見
回答者の属性	・ 性別、年齢、職業、居住地 ・ 運転免許の有無、自家用車の利用状況

3 - 2 地域公共交通におけるニーズ等の把握

(2) 利用者アンケート

② 予約型乗合タクシー

- 予約型乗合タクシーの利用実態を把握するため、予約型タクシーの利用者を対象にアンケート調査を行い、利用者の属性、利用目的、利用時間帯、利用回数などを把握します。

【実施概要（案）】

- **調査対象：**
予約型乗合タクシー利用者
- **実施方法：**
基本的には、調査員による車内での聞き取り調査

【調査項目（案）】

調査項目	把握内容（概要）
利用実態	・乗降バス停、往復・片道利用、利用目的、利用頻度 等
利用者の評価	・運行内容に対する評価・改善意見
効果把握	・利用する理由 ・予約型乗合タクシーが運行しなかった場合の外出行動
回答者の属性	・性別、年齢、職業、居住地 ・運転免許の有無 ・自家用車の利用状況

3 - 2 地域公共交通におけるニーズ等の把握

(3) 乗降実態調査

- 各種資料やデータの整理、ヒアリング・アンケート調査だけでは、公共交通利用実態・利用需要の現況を把握することは困難なため、各バス停の乗降状況、利用区間等の乗降実態を把握するため路線バス、市営バス等の利用者を対象に調査を実施します。

【実施概要 (案)】

- **調査対象：**
路線バス、市営バスの利用者
- **実施方法：**
調査員が路線バス等に乗り込み、乗車時に調査カードを直接配布、降車時に回収
- **調査項目：**
乗車・降車バス停、利用目的、属性 等

乗車バス停番号

降車バス停番号

バス利用調査カード

5 性化協議会

バス利用調査にご協力お願いします

○裏面の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り込み、お降りの際に調査員にお渡しください。
○1便ごとの調査ですので、以前ご回答いただいた場合でもご協力ください。

バス利用調査カード

以下の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り込み、お降りの際に調査員にお渡しください。
折り間違えた場合は、一旦戻していただければ幸いです。

↑ 折り込む ↓		折り込む ↓	
現金	運賃の支払方法	通勤・通学定期券	その他
回数券			
週3日以上	最近のバス利用回数	月1~3日	月1回未満
週1~2日			
通勤・通学	バスの利用目的	買物・私用 など	業務 (通勤以外)
通院・通所 など			
鉄道(JR)	他の交通へ乗り継ぎ	内陸縦貫鉄道	デマンド交通
路線バス (他の路線)			
市民病院直通バス	本市に必要なサービス (上位2つまで)	市内循環バス	予約制ドアtoドア交通 交通事業者間の共通定期券
鉄道駅への輸送交通			
定額制の運賃設定			
待合い環境の整備・充実	年齢	鉄道とバスの接続性向上	
~14歳		50~64歳	
15~18歳		65~74歳	
19~29歳		75~84歳	
30~49歳		85歳以上	
男性	性別	女性	

ご協力ありがとうございました

3 - 2 地域公共交通におけるニーズ等の把握

(4) 関係者ヒアリング

- バス事業者やタクシー事業者の交通事業者、庁内関係者（交通、都市計画、福祉、商工観光等）などの地域公共交通の運行に関わる関係者を対象にヒアリング調査を行い、地域公共交通の現状と課題、利用者・市民の声、今後のまちづくり等について把握します。

【調査項目（案）】

項目	関係者ヒアリング①【一次調査】	次年度（施策・事業案の確認）（予定） 関係者ヒアリング②【二次調査】
調査目的	運行状況等関連データの提供依頼 事業の中で散見する公共交通の問題点・課題	交通事業者のリソース、施策・事業案の実施可能性や交通事業者としての意見・意向の把握
調査対象	越後交通（株）、南越後観光バス（株）、東頸バス（株）、タクシー事業者、鉄道事業者、観光協会、社会福祉協議会、商工会関連団体 十日町市（交通、都市計画、福祉、商工観光等関係課）等	越後交通（株）、南越後観光バス（株）、東頸バス（株）、タクシー事業者、鉄道事業者、観光協会、社会福祉協議会、商工会関連団体 十日町市（交通、都市計画、福祉、商工観光等関係課）等
調査方法	電話・FAX、直接訪問（場合によってはリモート）	電話・FAX、直接訪問（場合によってはリモート）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者として把握している公共交通の利用実態 ・ 運行上、路線収支上での問題点・課題 ・ 観光施設等への来訪手段、公共交通の利用状況 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リソース（車両数・乗務員数・稼働状況等） ・ 施策案の実現可能性 ・ 施策案に対する意見意向 等

3-3 調査結果とりまとめ

- 実施した各種調査結果については、カルテ形式で整理します。
- 交通施策などのこれまでの取り組み状況や、各種調査結果、路線別カルテ等を基に、交通施策の評価検証及び路線別の評価を行い、次年度に予定している公共交通の現状分析、課題整理にあたっての基礎資料として活用します。

▼カルテイメージ（参考）

NO.〇〇 十日町車庫前～中里～津南線		利用者アンケート調査結果	
発着	十日町車庫前→津南営業所 / 津南営業所→十日町車庫前	<p><満足度></p> <p>【調査結果】 ●利用者アンケート</p>	
主な経由地	十日町本町3丁目 / 十日町本町3丁目		
運航日	毎日運行 / 毎日運行		
便数	2便		
運賃	〇〇		
※始発からの料金	〇〇		
路線特性	<p>【運行概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運行本数 ●始発便、最終便 ●主なバス停等 <p>・〇〇目的に利用する意見が多い。 ・〇〇～●間の乗降は少なく、〇〇高校での乗降が多くなっており、〇〇町内での乗降も多くなっている。〇〇方面へ向かう便は夕方の便、〇〇方面へ向かう便は朝の便の利用が多く、特に〇～〇間の朝の利用が多くなっている。</p>		
区間別利用状況	平日	<p>十日町車庫前→津南営業所</p> <p>【調査結果】 ●乗降実態調査結果</p>	<p>津南営業所→十日町車庫前</p>
	バス停別乗降人数（平均）		
	乗車人員		
	降車人員		
		<p>路線図</p>	

3-4 地域公共交通活性化協議会等の開催

- 十日町市地域公共交通計画の内容等を協議するための協議会及び庁内ワーキング会議を開催する。

▼地域公共交通活性化協議会及び庁内ワーキング会議の協議事項（案）

	協議会回数	開催予定	協議内容	協議のポイント
第1回	庁内ワーキング会議	7月28日（木）	○キックオフ ・趣旨目的 ・調査内容 ・スケジュール	・十日町市地域公共交通計画の策定に向けた調査内容（特に関係者ヒアリング等の各種調査）、今後のスケジュール等についての確認
	地域公共交通活性化協議会	8月23日（火）		
第2回	庁内ワーキング会議	2月下旬 （予定）	○調査結果報告 ・各種調査結果 ・次年度スケジュール	・市民アンケート等の各種調査結果の報告 ・「調査結果とりまとめ」を踏まえ、交通施策の評価検証及び路線別の評価から地域公共交通の課題について協議 ・次年度のスケジュールについて確認
	地域公共交通活性化協議会			

4. 策定スケジュール

(1) 策定スケジュール

調査項目	令和4年						令和5年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和5年度 4月以降		
	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下			
計画準備	●→										課題の整理、 地域公共交通計 画（案）の策定	
1. 地域現況の整理												
(1) 上位・関連計画等と本計画の位置づけ整理	●→											
(2) 十日町市の現状整理	●→	→										
2. 地域公共交通におけるニーズ等の把握												
(1) 市民アンケート調査	●	準備	●	配布・回答期間	●	集計・分析	→					
(2) 利用者アンケート調査		●	準備	●	実施	●	集計・分析	→				
(3) 乗降実態調査		●	準備	●	実施	●	集計・分析	→				
(4) 関係者ヒアリング			●	→								
3. 調査結果とりまとめ							●	→				
4. 地域公共交通活性化協議会等の運営支援		●	●	★	庁内ワーキング会議、地域公共交通活性化協議会				●	●		★
報告書の作成								●	→			
打合せ協議	★						★			★		